

教職員の業務改善プラン

安曇野市立豊科東小学校

安曇野市立小中学校教職員の業務改善方針

<重点目標>

- 1 一人あたりの教職員の時間外勤務時間が、1ヵ月平均45時間以下になることを目指します。
- 2 平時においては、午後6時迄には退勤するよう取り組みます。
学校現場における教職員の業務改善を継続的に進めるため、教育委員会が積極的に関わりながら出来ることから改善策に取り組むとともに、効果把握を行い、対策の改善・充実を図ります。

<具体的な取り組み>

- 1 勤務時間を意識した働き方
- 2 教職員の意識改革
- 3 業務の削減や分業化、協業化
- 4 業務の効率化、情報化
- 5 業務環境の改善
- 6 教育内容の見直し及び定数改善の視点から国や県への要望

本校の具体的な取り組み

- 1 勤務時間を意識した働き方
 - ・管理職が年間を通してすべての教職員の勤務時間を把握し、一人ひとりに応じて面談を行う等、勤務時間への意識を高めていく。
 - ・「勤務時間の割振り」の活用を勧めている。
 - ・職員会議の開始時刻、終了時刻を厳守する。
- 2 教職員の意識改革
 - ・学校安全衛生委員会を中心に、時間外勤務改善に対して意見交換をした結果、教職員の時間外勤務に対する意識が変わってきている。
- 3 業務の削減や分業化、協業化
 - ・教員業務支援員、専科教員の配置により業務の分業を行っている。
 - ・1人の職員で業務を行うのではなく、チームとして取り組むようにしている。
 - ・授業において、地域ボランティアの活用を図っている。
 - ・行事の反省時に次年度の計画を起草している。
- 4 業務の効率化、情報化
 - ・職員会議の資料を印刷せず、パソコンを使用して会議をしている。
 - ・「学校日誌」をパソコンで作成している。
 - ・「学校教育計画」の印刷ページの精選とデータ化を行った。
 - ・家庭への配布物は精選して配布している。
 - ・学年費と旅行貯金を一本化し、インターネットバンキングを利用して振込を行っている。
- 5 業務環境の改善
 - ・長期休業の前後や懇談会前を5時間授業にして、学級事務の時間を確保している。
 - ・年間計画に定時退勤日を位置づけている。
- 6 教育内容の見直し及び定数改善の視点から国や県への要望
 - ・小規模校の教員配当基準の見直しや学校を支援するための人材の確保について、関係機関へ機会をとらえて提言や要望を続けている。